

**愛知県立半田高等学校様**

**【新型コロナウイルス感染防止対策】**

**株式会社JTB 教育旅行名古屋支店**

**太田 悠斗**

## 1. はじめに

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」においては、「今後、感染拡大の予防と社会経済活動の両立を図っていくに当たっては、特に事業者において提供するサービスの場面ごとに具体的な感染予防を検討し、実践することが必要になる。社会にはさまざまな業種等が存在し、感染リスクはそれぞれ異なることから、業界団体等が主体となり、また、同業種だけでなく他業種の好事例等の共有なども含め業種ごとに感染拡大を予防するガイドライン等を作成し、業界をあげてこれを普及し、現場において、試行錯誤をしながら、また創意工夫をしながら実践していただくことを強く求めたい」とされました。

同書面については、これらを踏まえ、新型コロナウイルス感染症の終息までの旅行業における当面の対策としてまとめられた「旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き（JATA作成）」などを参考に、JTB教育旅行名古屋支店にて旅行実施に向けた確認事項を纏めたものとなります。

## 2. 旅行実施に向けた感染防止のための基本的な考え方

- (1) 新型コロナウイルス感染症の主な感染経路である接触感染と飛沫感染を回避するよう、引率教員・生徒・添乗員相互間の動線や接触等を考慮すること。
- (2) 他者と共有する物品や直接手が触れる場所と頻度を特定し、接触機会を軽減する措置を講じること。
- (3) 感染リスクが高い「3つの密」な場所・状況を特定し、可能な限り事前に対策を講じる、または避けるような旅程管理を実行すること。
- (4) 一定の距離・間隔を確保する必要がある場合、可能な限り2 m、最低 1 mを確保するように努めることとする。

### 感染防止のための行動（うつさない・うつらない）

- ① マスク着用で飛沫感染防止
- ② うがい・手洗い・消毒で接触感染防止
- ③ 共用備品を減らし、個人利用のものを持参
- ④ 密集を避ける、密集を作らない旅程管理
- ⑤ 声による伝達、案内を減らすための工夫・事前準備

### 3. 旅行実施前の確認事項について

#### (1) 旅行参加者（児童・生徒・教員・添乗員）の基本対策

##### 日常生活を営む上での基本的生活様式

※出典：厚生労働省HP

- ☐ まめに手洗い・手指消毒      ☐ 咳エチケットの徹底      ☐ こまめに換気  
☐ 身体的距離の確保      ☐ 「3密」の回避（密集、密接、密閉）  
☐ 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



#### (2) 生徒の皆様、保護者の皆様へのご協力のお願い

- 旅行中の感染防止対策  
感染予防の行動、手洗いや咳エチケット、乗り物乗車中や食事中、大浴場利用中の会話を控える等の実施と理解・協力をお願い致します。
- 同居のご家族も含め、児童・生徒様の出発前の健康観察を徹底し、発熱・体調不良者の参加は取り止めて頂けるようご協力をお願い致します。
- 国内においても感染者と濃厚接触がある場合は、保健所や医療機関の指示のもと参加の判断を頂きます。
- 出発前に体調確認（体温、体調チェック）を行っていただき、発熱や感染の疑いがある場合には、旅行参加を取り止めていただくことを推奨します。
- 旅行中も朝・夕の定期的な検温を実施し、体調不良者の発生等の場合には特段の配慮をお願い致します。
- 旅行中は、手を拭くタオルやハンカチ等は個人持ち(1日1枚)として、共用はしないようにご指導頂くことを推奨します。
- 食事アレルギーや既往症の事前調査に加えて、新型コロナによる重症化リスクの可能性も事前に把握して頂き、主治医の見解を保護者様へ確認のうえ、学校との協議により参加の是非を検討願います。

#### (3) 添乗員

- 事前、並びに業務中の検温等、体調管理を徹底し、体調不良者や感染者との濃厚接触の恐れがある添乗員による添乗業務は行わない。
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航並びに当該在住者との濃厚接触がある場合、その添乗員は添乗業務を行わない。
- 万一添乗中の添乗員が体調不良となった場合は、速やかに団体から離脱させ、代替要員を手配する。
- 添乗員は予備として、携帯用の消毒キット、体温計、白手袋等を用意する。

## 4. 各施設の具体的対応例

### (1) 宿泊施設（グランディア芳泉・まつや千千）

- 密回避を避けるため、1室あたりの定員数を4名までで対応しています。
- 感染症防止対策として、館内各所にアルコール手指消毒剤を設置済みです。  
特にご来館時やお食事の前には、手指のアルコール消毒を必ずお願いします。
- ルームキー・部屋のドアノブは毎日アルコールによる消毒をしています。
- スタッフはマスク着用にて接客します。
- スタッフは毎日出社時に検温を行います。
- 共有エリアでは定期的に換気を行います。

### (2) 運送機関（オーフ観光バス）

- 手洗い・うがいの励行  
社内マニュアルを基に勤務時間中はもとより、勤務時間外においてもこまめな手洗い・うがいの励行を指導しています。
- マスクの着用・体調管理  
社屋入館時、点呼時、乗務中はマスクの着用を徹底しています。
- 消毒液の設置・利用  
バス車内および各営業所玄関、点呼場、各フロアに設置のアルコール消毒液を用いて出勤時、乗務前、業務中において手指のアルコール消毒をこまめに行っています。
- バス車内の換気  
『外気導入モード』時では、車両前方と、屋根上のエアコンから新鮮な空気を取り入れることによりおおむね 5 分で車内の空気を入れ替え対応しています。
- バスの台数を通常の1.5倍（12台）として、1台当たりの乗車人数を減らします。

### (3) 食事施設（千里浜レストハウス・ほつきよ荘・寄観亭・ゆのくに）

- 消毒液の設置（売店・食事会場）
- 従業員の検温の実施
- 売店・食事会場の換気
- 従業員のマスク着用
- テーブルのアルコール消毒の徹底
- 店内の手すり・ドアノブ等を定期的に消毒
- 食品扱い担当者はビニール手袋の着用
- 通常時のお客様収容人数50～70%での営業
- 対面を避けたレイアウト及びアクリル板やビニールシートの設置  
※店舗により対応方法は異なります。

## 4. 各施設の具体的対応例

### (4) 体験施設（箔一・ゆのくにのもり・石川県物産館・漆遊館）

- 会場入口に消毒液の設置
  - 体験者全員にマスク着用をお願いをしています。
  - 職人及びスタッフはマスク着用の徹底(一部 フェイスシールド着用)
  - 体験者はビニール手袋着用をします。
  - 作業道具の毎回洗浄とテーブルの消毒をします。
  - 受入人数の制限と座席の一定間隔を確保しています。
  - 会場の換気(リアルタイム)を実施しています。
  - 体験会場においては通常の1 / 2を目安とした人数でお受け入れしています。
  - 団体体験会場では向い合う席にアクリルパネルを設置しています。
  - 体験使用時の道具類、テーブルはお客様ごとに消毒を実施しています。
- ※各店舗により対応は若干異なる場合がございます。

## 5. 修学旅行に関する問い合わせ

- 新型コロナウイルス対策に関して安心してご参加いただける様に、  
修学旅行実施前まで万全の準備を講じます。  
修学旅行に関わるご不明点がございましたら、以下まで問い合わせをお願いいたします。
- JTBへの質問内容  
行程に関わる質問  
支払いに関する質問
- 学校への連絡内容  
参加欠席に関する連絡

### 問合せ先

会社名：株式会社JTB教育旅行名古屋支店

担当者：太田悠斗

アドレス：[y\\_ota113@jtb.com](mailto:y_ota113@jtb.com)

※問い合わせにつきましてはメールのみとさせていただきます。

※問い合わせの際は生徒様のクラス、お名前も添えてご質問・問い合わせください。

※頂いたご質問は学校様と共有し、回答差し上げます。

※返答までお時間を頂戴する可能性があります。



感動のそばに、いつも。